



PDA 埼玉県立浦和第一女子高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2020年10月28日（水）15:30-18:00

会場：埼玉県立浦和第一女子高等学校（Zoomを用いたオンライン開催）

参加者：生徒17名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

はじめに、首都圏交流大会の様子の共有やルールの確認を行いました。恒例のPOIの説明では、POIのポーズを行いました。POIとは、Point of Informationの略称で、相手のスピーチ中に質疑応答を要求することができるルールです。相手の話がわからなかったときや、具体的に聞きたいとき、反論の布石を打ちたいときなどに行います。



POIの練習

POIの練習を終えると、早速実践です。現状分析を行うことで論題の重要性を説明したり、将来への影響を説明することで重要性をチームメイトのポイントを補完したり、お互いの主張を理解していないとすることができない比較を行ったり、活発に意見が交わされました。続く第2ラウンドでは、前提となる理由を話そう、具体例を出してみよう、など第1ラウンドでジャッジから受けたアドバイスを活かそうとする姿勢が見られました。“Even if”を用いた反論をしたり、代替案を提示したり、お互いに説得力のある分析を出し合い、とても甲乙付け難いディベートとなりました。



準備時間・ディベート中の様子



堂々とスピーチをします



エアー握手で健闘をたたえあいます

最後に、今回ベストディベーターに選ばれた生徒が「難しかったが、またチャレンジしたい。」「改善点がわかってよかった。また、みんなで意見を出し合うのも面白かった。」と感想を述べました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ジャッジの方が、すごく細かく分析してくださったので、改善点や良かった点が分かりました。ディベートに苦手意識があったのですが、楽しかったです！
- ・どういうレスポンスをしたらより説得力があるのかを学ぶことができた。
- ・自分の改善点が見つかり、第2ラウンドに生かすことができ、自分の成長を感じた。実りのある時間となりました。
- ・瞬時に判断してみんなで話し合っって反論するのが楽しかった。苦手意識があったのですが、1回目での改善点に注意して2回目に取り組み、上達したのを実感できたのが嬉しかったです。
- ・改善点とかをわかりやすく教えてもらえて頑張ろうという気持ちになった。自分のよかったところを言ってもらえてすごく嬉しかったです。苦手意識があったけれど、またやりたかったです。
- ・今までの練習で自分が気付かなかった改善点を的確にかつ客観的に教えてくださった。ジャッジの方の感想が的確で学ぶことがたくさんあった。これからもディベートを重ねて成長していきたい。
- ・自分が良い点、改善点などがよく分かったのでとても理解ができたから。言いたいことがでなかったり、反論が思いつかなかったりしましたが、使ったらよい単語などがよく分かりました。
- ・先生の具体的なアドバイスがとてもタメになり、先生の広い視野に見習いたいなと思いました。あと、先生に褒められるのが嬉しかったです♡ ディベートにとっても興味を持ちました。自分の英語力を上げるだけでなく、対応力など様々な力を生かさなければならぬと強く感じました。